



洗心の松

# 揺籃だより

令和3年度 藤井小学校だより 5月号



揺籃の藤

学校目標 豊かな心で助け合う子ども よく考え進んで学習する子ども 健康でたくましい子ども  
～洗心の松のように大きく根を張り、揺籃の藤のように美しく、たくましい大木になろう～

## 全校遠足でみんな仲良しに！

1年生は入学、他の学年は進級して約1か月が過ぎました。子供たちの様子から、新しい教室や友達、そして先生にも慣れた頃かと思えます。毎年、藤井小学校では1年生を迎える会も兼ねて「全校遠足」を行っています。「遠足」とは字を見てのとおり、明治時代から学校から遠くまで歩いていく校外学習とされていました。今では、公共機関も使用するので、集団行動や公衆マナーも目的の一つとしています。もちろん校外学習ですから学校施設内では体験できない自然に触れることで、豊かな心、思いやりの心を育むことも目的としています。

今年は4月28日（水）に太平少年自然の家で、縦割り班での自然体験活動をたっぷりと行ってきました。班のメンバーとともに動植物の息吹を感じたり、ネイチャービンゴで協力したりする活動を通して、班の連帯感や一体感が芽生えたようです。1年生のすてきな笑顔もたくさん見ることができました。保護者の皆様には、お弁当の準備やお子様の健康管理等に御留意していただいたこと、感謝しております。引き続きの御支援をよろしくお願いいたします。



### 全校遠足振り返りより(抜粋)

○海老沼陽雄さん(6年)「1年生が主役でもあるので、1年生が楽しめるにはどうしたらよいかを考えました。初めての班長で大変なこともあったけど、1年生にたくさん声をかけたり、お話をしたりと班長の役目を果たせたのでよかったです。」

○松本 有翔さん(6年)「初めての班長で最初はむずかしかったけど、だんだんと慣れてきました。班をまとめることが自分のめあてでしたが、がんばって班をまとめることができました。」

# 放課後の学びも充実！

本校では、放課後の豊かな学びの時間が確保されています。放課後子ども教室「みちくさ」が4年目を迎えました。「みちくさ」では、放課後等に希望するすべての子供たちを対象に、勉強やスポーツ、文化活動、交流活動など、魅力あふれる活動が行われ、子供たちの笑顔をつくり続けています。「みちくさ」での学習活動や体験活動等の学びは、コミュニケーション能力などの「生きる力」の育成にもつながっています。これらの活動を支えるスタッフの皆様へ感謝です。また、放課後子ども教室の後は、藤井児童クラブで過ごす子供たちもたくさんいます。家庭に帰るまでの時間、子供たちは豊かな学びを通してたくましく成長している様子が見られてとてもうれしいです。

「キャメロン先生の英語教室」



「キャップでこま回し」



「児童クラブで宿題の時間」



# 見方を変えるとみんな笑顔に！

先日の授業参観時、保護者のみなさんに「落ちないりんご」の話をさせていただきましたので紹介します。

今からもう30年近く前のこと。青森県のりんごに大きな被害が出たことがある。台風によってりんご農家が育てていたりんごの9割くらいが、収穫する前に木から落ちてしまった。りんご農家にとっては大きな痛手。収入も大きく減ってしまう状況になった。この状況にあるアイデアが救った。9割のりんごが台風によって木から落ちてしまったが、残りの1割のりんごは落ちずに残っていた。あるアイデアとは、「落ちないりんご」という名前で、縁起のいいものとして受験生に買ってもらうというものであった。値段は1個1000円くらいであったが、飛ぶように売れて、あっという間に売り切れた。

この話は子育てにも生かせると思う。このアイデアは視点を変える、つまり見る場所とか見る方向を変えることで生まれたアイデア。「ないりんご」ではなく、落ちずにまだ木に「あるりんご」に目を向けた。ついつい、あればいいのにと感じてしまう。つまり今はないことに目を向けて、それをうらやましがったり、それが無いからダメなんだと感してがっかりしてしまう。誰々さんは勉強できるけど、自分の子はそうでもないとか…我が子にないところ、できてないところを見ているというのは、台風で落ちてしまっ、もう木にはないりんごを見ているのと同じだと思う。まだ落ちていない、今、木にちゃんとあるりんごに目を向けることから…我が子にあるもの、我が子が持っているものを見極めて、それを生かすことが子供を生かすことなんだと思う。親の大きな役割の一つが、このこと。よその子にあるけれども自分の子供にはないことばかりに目を向けて、それがあればいいのにと親が思っていると、その思いは知らず知らずのうちに子供に伝わる。自分はこれができないからダメなんだ、それでお父さんお母さんはがっかりしているんだ、と感してしまうかもしれない。

子供が持っているもの、子供にあるものに目を向け、こんなふうに生かしていくといいだろう、こんなふうに伸ばしていくといいだろうと思っていれば、子供も自分の才能を伸ばしていこう思う。これは保護者のみなさんだけが心掛ければ良いということではない。本校の教職員全員が心掛けていかなければいけないことでもある。



※詳細は藤井小学校ホームページをご覧ください。子供たちの活動の様子がたくさん紹介されています。携帯電話からもご覧になれます。左のQRコードを携帯のバーコードリーダー機能で読み取ってご覧ください。